

中庭の合格桜が満開です。3年生ももうすぐ卒業ですね。合格の嬉しい知らせが毎日舞い込んできます。3年生も落ち着いたら是非本を手にして欲しいと思います。



～先生にインタビュー～

山田 拓也 先生



Q1 先生のお気に入りの本を教えてください。

「華麗なるギャツビー」The Great Gatsby

Q2 その本を選んだ理由は何ですか。

僕は大学時代、アメリカ文学を専攻していました。その中で出会った作品がこちらの2013年に映画化もされているアメリカ文学傑作の「華麗なるギャツビー」です。

アメリカ合衆国の小説家 F. スコット・フィッツジェラルドの1925年刊の小説です。貧農の家に生まれながら立身出世を夢見る純朴な努力家ジェイ・ギャツビーが貧しさゆえに失った恋人デイジーを取り戻すため、様々な手段によって巨万の富を得た後ロングアイランドに豪邸を構えてデイジーに近づくのだが…。ギャツビーがひたむきに「アメリカの夢」を求めながら破滅する過程を、同じ中西部出身の語り手ニックを通して描いています。

第一次世界大戦後、経済成長を遂げたアメリカの1920年代(ローリング・トゥエンティズ、ジャズ時代)や、その当時の人々の狂騒と熱狂、悲哀が入り混じる感情を映し出した作品です。加えて、禁酒法(1920-1933)や新しく活躍する女性像=フラッパーなど、アメリカの歴史的背景も学ぶことができるアメリカ文学の中でもお薦めの作品です。

1・2年生はもうすぐ進級ですね。この1年はどうでしたか？いろいろあった1年でしたね。自分の体験出来ない物語や、世の中のことを知るためにも、是非本を手にも自分の世界を広げてください。

～図書委員のおすすめの本～

「赤ずきん、旅の途中で死体と出会う」

青柳碧人（著）

この本は、「シンデレラ」・「ヘンゼルとグレーテル」・「いばら姫」・「マッチ売りの少女」と「赤ずきん」のクロスオーバーである短編集の推理小説です。3作目の「いばら姫」だけは「姫」の周りの人達の話ですが、他の3話は一般的なイメージと主人公たちの性格がかけ離れています。（グレーテルだけはそうでもない。）

「シンデレラ」はよく知られている話と結末が大きく違い、「ヘンゼルとグレーテル」の後日譚では、グレーテルがヘンゼルに脅え、マッチ売りの少女はお金に夢中になります。赤ずきんにいたっては、探偵ポジションです。

童話の主人公たちのイメージが大きく覆る本です。

《図書委員：田中 彩乃さん（1-1）より》



「その扉をたたく音」

瀬尾まいこ（著）

私がお薦めする本は「その扉をたたく音」です。この物語は29歳、無職、夢はミュージシャンの主人公、宮路がある日ホームで働いている渡部の神がかったサックスの音に突き動かされ、ホームに通い始めるという物語です。

ホームの住人と宮路のかけ合いが面白くお薦めです。是非読んでください。

《図書委員：鈴江 翼さん（1-1）より》

